

Apache モジュール mod_authn_file

説明:	テキストファイルを用いたユーザ認証
ステータス:	Base
モジュール識別子:	authn_file_module
ソースファイル:	mod_authn_file.c
互換性:	Apache 2.1 以降

概要

本モジュールは `mod_auth_digest` や `mod_auth_basic` といった認証フロントエンドに対して、プレーンテキストのパスワードファイル内からユーザを検索することで、ユーザ認証機能を提供します。似たような機能は `mod_authn_dbm` でも提供されています。

`mod_auth_basic` や `mod_auth_digest` を使用する際には、`AuthBasicProvider` や `AuthDigestPrivider` で「file」と指定することでこのモジュールは起動されます。

トピック

URI References..... 2

ディレクティブ

AuthUserFile..... 1

参照

- `AuthName`
- `AuthType`
- `AuthBasicProvider`
- `AuthDigestProvider`

AuthUserFile ディレクティブ

説明:	認証に使用するユーザとパスワードの一覧が格納されている、テキストファイルの名前を設定する
構文:	AuthUserFile file-path
コンテキスト:	ディレクトリ, .htaccess
上書き:	AuthConfig
ステータス:	Base
モジュール:	mod_authn_file

`AuthUserFile` ディレクティブは、ユーザ認証のためのユーザとパスワードの一覧を格納したテキストファイルの名前を設定します。file-path はユーザファイルへのパスです。もし絶対パスでなければ（つまり スラッシュで始まらないパスであれば）、`ServerRoot` からの相対パスとして扱われます。

ユーザファイルの各行には、ユーザ名、コロン、`crypt()` で暗号化したパスワードを記述します。同一ユーザが複数回登録された時の挙動は定義されていません。

Apache モジュール mod_authn_file

バイナリ配布の一部としてインストールされるか、あるいは `src/support` にある `htpasswd` ユーティリティで、このパスワードファイルをメンテナンスします。詳細は `man` ページをご覧ください。簡単には:

初期 ID `username` で、`Filename` というパスワードファイルを生成します。次のコマンドを発行するとパスワードが要求されます:

```
htpasswd -c Filename username
```

パスワードファイル `Filename` に、`username2` を追加したり修正したりします:

```
htpasswd Filename username2
```

(訳注: 非常に多くのユーザを登録すると大きなファイルになりますが) 大きなテキストファイルを検索するのは非常に効率が悪い ということに注意してください。そのような必要のある時は、`AuthDBMUserFile` を代わりに使ってください。

セキュリティ

`AuthUserFile` は、ウェブサーバのドキュメントツリーの外側に保管するようにしてください。保護しようとしているディレクトリ以下には、置かないで下さい。 そうしないと `AuthUserFile` は ダウンロードできてしまいます。

URI References

- [1] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/programs/htpasswd.html>